

【ロッテ】佐々木朗希、臨時休校の子どもたちへ「時間をうまく活用して」自身体験を基にメッセージ

ロッテのドラフト1位・佐々木朗希投手（18）が4日、新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校で在宅中の子どもたちへ、自身の体験を基にメッセージを送った。現在、多くの子どもたちが自由に学校で勉強することも外で遊ぶこともできない中、限られた環境でどういう時間を過ごすことが大事か問われると、自らの過去を振り返るように言葉を紡いだ。

「やれることがない、やることが与えられない時に自分で考えてやるということが、これから求められると思う。すごく良い時間になると思いますし、その方が野球だったり、勉強だったり伸びると思う。そういうところで自分で考えてできるように、時間をうまく活用してほしいなと思います」

休校一。小学3年の3学期末に、学校に行きたくても行けなかった。東日本大震災で被災。つらい出来事に直面しながら約1カ月、親戚宅で過ごした。小4の新学期は転校先で迎えた。

163キロ右腕に成長した高校時代は、自主練習の時間も多かった。

「自分のことを理解しないと、そういう時間はうまく使えません。うまく使えたから、伸びたのかなと思います。」